



SERVE TO CHANGE LIVES

# 吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

## ウィークリー 2021-22



創立 1980.6.12  
 事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020  
 URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail [src@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:src@jasmine.ocn.ne.jp)  
 例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00  
 会長: 杵本日出夫 幹事: 木下基司 会報委員長: 木田昌宏

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 本日の例会

第1818回例会 令和3年8月23日  
 今週の歌 「戦争を知らない子供たち」  
 卓話 「人間の願とは！  
 信仰と生活を通して」  
 本田 智教 会員

### 次回の例会

第1819回例会 令和3年8月30日  
 今週の歌 「我等の生業」  
 卓話 「クラブ協議会」  
 RI第2660地区 第2組  
 茶橋 和夫 ガバナー補佐

### 前回の記録



#### 会長挨拶

杵本会長



本日はゲストスピーカーとして、曾谷博之様をお迎えし、「ジャンボ将棋大会と吹田での将棋への取組み」についてお話を伺います。

実は、曾谷さんと私と他数名の人達とで、「吹田スーパー元気プロジェクトチーム」という名の吹田市を元気にしたい任意グループを2014年7月に、とりあえず私が代表で立ち上げ活動を開始しました。今年で7年になります。

吹田市を元気にしていこうと、色々なアイデア提案や支援活動を始めました。

具体的な活動としては、重い病気のお子さんの治療に付きそう家族のための滞在施設のマクドナルドハウスの大阪健都への移転建設への寄付や、吹田市主催の「千里の竹あかり」イベントでは音響設備と運営支援活動を行いました。また、大きな提案としては、万博

おもしろ道路提案が有ります。

もう一つ、継続している活動が、ジャンボ将棋大会です。

浜屋敷のジャンボ将棋の始まりは、実は曾谷さんのアイデアで、2000年に歴史的古民家を市に譲り受けた際、曾谷さんは、浜屋敷の整備担当職員として、有効活用を模索され、ジャンボ将棋駒は、今は無いけれど、イベント広場を将来ジャンボ将棋ができるようにと、4面の将棋盤として使えるよう考えて作ったとのことです。

その後、私はその話を聞いて、これは面白いと思い「吹田スーパー元気プロジェクトチーム」で、ジャンボ将棋駒の提供支援者を募ったところ、寄付賛同者は、吹田西RCの橋本徹也さん、関根工務店さん、他11社が協力して頂き、浜屋敷にジャンボ将棋駒を提供することができました。

現在ジャンボ将棋大会は5年続いており、今年も開催予定です。

これから先の話は、本日のゲストスピーカーの曾谷博之さんにお話し頂きましょう。

### 📖 ゲスト紹介

クラブ奉仕委員会 清水(良)委員長

本日のお客様は、ゲストスピーカーとして、元吹田市文化のまちづくり室浜屋敷担当 曾谷博之様にお越し頂いています。本日の卓話よろしくお願ひします。

そして、米山奨学生のワッツアラさんがZoom参加を頂いております。



1. 8月中<緊急事態宣言中>の例会の件

先日メールにてご連絡させて頂きました通り、コロナ禍継続・大阪府に発令中の緊急事態宣言のため、Webを利用したハイブリッド例会開催について、ご理解並びにご協力賜り誠に有難う御座います。8月31日までの宣言予定期間中の例会は、全てこの形式で行う考えであります。

特に8月30日のガバナー補佐訪問日（クラブ協議会開催日）は、今年度理事以外の会員様は全て、Web参加頂きますよう宜しくお願い致します。

2. すいたフェスタ2021の開催中止の件

同様にコロナ禍、緊急事態宣言発令並びに吹田市内での新型コロナウイルス感染症の陽性者急増を理由に、すいたフェスタ実行委員会より、9月5日開催予定だった「すいたフェスタ2021の開催中止」の連絡がありました。当クラブが4月に振込みした協賛金は返金予定です。

3. 2021-22年度地区大会のご案内

本年度の地区大会は、12月3日(金)に1日のみの開催予定です。

その案内がガバナー事務所から届いており、同時に地区大会チラシが事務局に届いておりますが、指示により9月13日の吉川ガバナー公式訪問時に配付させて頂きます。

ちなみに、吉川秀隆ガバナーは美容・理容・歯科機器製造販売の「タカラベルモント株式会社」代表取締役社長、今年度大阪ロータリー会長の鳥井信吾氏は「サントリーホールディングス」代表取

締役副会長、地区大会実行委員長の水野明人氏はスポーツ用品「ミズノ株式会社」の代表取締役社長です。更には、大阪ロータリーの今年度幹事の嘉納次郎右衛門（じろえもん）氏（46歳、2017年「第12代」襲名、元 嘉納逸人（はやと））は酒造会社「菊正宗酒造」の代表取締役社長だそうです。

出席報告

クラブ奉仕委員会 清水(良)委員長

- 会 員 数 43名  
出席会員数 34名 (内Web出席 21名)
- 来 客 2名 来客 (Web) 1名  
本日の出席率 94.44%
- ※コロナ禍によるメーキャップ規定により8月2日の出席率は100%

社会奉仕委員会

橋本(幸)委員長

8月26日にビケンテクノ様の敷地をお借りして献血活動を実施します。

血液は不足していますので、コロナ禍ではあります多くの皆様のご協力をお願いします。

会員増強委員会

西村委員長

高崎ロータリーの田中久夫さんが今年6月に幻冬舎から「ロータリークラブに入ろう！」を出されており、ネットでも「一度入ったら簡単にはやめられない、ロータリークラブの全貌」で今週からアップされています。新入会員勧誘の参考になると思います。また、吹田商工会議所の9月会報に吹田西の紹介記事が出ますので合わせてご活用ください。

プログラム委員会

橋本(芳)委員長

吹田西RCの創立40周年記念講演会にて講演をして頂きました、アジアパラリンピック48kg級銅メダリスト工藤博子さん。その時は出場前でしたが今回開催される東京パラリンピックに出場されますので是非例会にお呼びしたいと計画しています。ご期待ください。そして今月の8月28日に出場されますので応援よろしくをお願いします。



## ジャンボ将棋大会と吹田での将棋への取組みについて

元 吹田市文化のまちづくり室 浜屋敷担当

曾谷 博之 様

### ◇プロフィール

曾谷 博之（そたに ひろゆき）1961年生：60歳

今春、吹田市土木部公園みどり室を定年退職し、現在は再任用職員として都市計画部計画調整室千里ニュータウン情報館に勤務。

過年度において浜屋敷（吹田市歴史文化まちづくりセンター）西庭増築工事の設計施工監理を担当し、ジャンボ将棋駒作製募金活動にも市民団体の一員として携わる。

### ●吹田歴史文化まちづくりセンター（愛称：浜屋敷）

浜屋敷は、市民の文化活動や交流の場として活用するために歴史的な古民家の寄付を受け、地域社会の発展に寄与することを目的に平成15（2003）年6月にオープンしました。

### 目的

- ①歴史と文化のまちづくりにかかわる市民相互の交流と連携の促進を図る。
- ②地域に息づく歴史、文化を保存し発展させる。
- ③まちに個性と魅力及び潤いを与える。

※管理運営は、NPO法人吹田歴史文化まちづくり協会。

### 新しい地域コミュニティ活性化の場づくり

平成22年（2010）4月 増築工事で西庭が活用の広場として新設された。

### 西庭を活用する地域コミュニティ活性化プランを策定

- ・「市内の地域伝統文化を継承～発展～進化」をテーマに地域コミュニティ活性化を図る。
- ・吹田市にある歴史・文化資源（人、もの、こと）を活用する。

### 地域文化資源の活用

吹田市にゆかりのある棋士「阪田三吉」の足跡を継承し、将棋文化の発展でコミュニティ育成を図り地域活性化を進める。

- ・阪田三吉は「関西名人」事件の直後、当時、大日本麦酒（後のアサヒビール）大阪支店長だった高橋龍太郎の援助を受けて、大正13年から昭和9年の約10年間、吹田市内本町1丁目地内に居住していた（高橋龍太郎は、後にアサヒビール社長、吉田内閣の通産大臣を務めた）。
- ・この頃、近所であった西尾家とのつながりが始まり、第11代当主：西尾與右衛門（よえもん）に稽古をつけていた。
- ・稽古の際に使われていた将棋盤と駒が旧西尾家住宅に保存されている。
- 特長のひとつが、王将に「阪田好（さかたこのみ）」と彫られており阪田三吉の愛用が偲ばれる。
- ・高橋龍太郎が費用の一部を負担して「王将阪田三吉之墓」は豊中市服部霊園に建てられた。

### ●ジャンボ将棋と将棋まつり

平成28年（2016）6月19日

第1回ジャンボ将棋まつり 開催

令和3年（2021）9月20日

第6回ジャンボ将棋まつり 予定

平成28年、市内有志団体「吹田スーパー元気プロジェクト」が浜屋敷にジャンボ将棋駒を寄付

- ・駒制作は（株）大阪エース：摂津市。安全性を考慮したウレタン製。
- 子供たちの将棋を「指す」体験を意識して、実物と大きさの比率、角度、字体を忠実に再現。
- ・対局ルール・運営は日本将棋連盟が後援。

ジャンボ将棋は団体戦で行っている

- ・対局は子供たち、応援はご両親・祖父母と三世代が集うなど、友達も含めて毎回大変賑やかである。



将棋大会は個人戦で行っている

- ・ジャンボ将棋とは区別して浜屋敷屋内で通常サイズの将棋盤で行われ、決勝戦は阪田三吉が遺した将棋盤と駒を使って行われる。

※根強い将棋人気の追い風もあり例年募集枠はすぐに予約でいっぱいになる状況である。

※地元歴史・文化資源を活用したコミュニティ育成による地域活性化は成功している。



曾谷 博之 様

◆吹田西ロータリークラブによるジャンボ将棋駒寄付による効果

- ・市内複数の場所でジャンボ将棋を行い、楽しむことが初めて広がります。
- ・地域の歴史・文化資源を活用した地域活性化の拡大が大きく期待できます。
- ・将棋イベント参加者の世代をつなぐコミュニティの輪がさらに大きくなります。



吹田西ロータリークラブ句会  
第四〇四回（令和三年五月度）  
兼題「紫陽花・梅雨・薄暑・網戸」

風呂上り網戸の風に立ち止まる  
地下街を出れば青空街薄暑  
日の差せば雀鳴きけり梅雨最中  
紫陽花や乾ききらざる犬の鼻

まさお  
ときよし  
美加代  
山牛

第四〇五回（令和三年六月度）  
兼題「螢、六月」

初螢その点滅は水面にも  
灯を消して声を静めて見る螢  
ほうたるを追えば深まる草の闇  
北山を白く消したる夕立かな

まさお  
ときよし  
美加代  
山牛

第四〇六回（令和三年七月度）  
兼題「鮎、熱帯夜」

縄張を守りて鮎の横移動  
青き灯の照らす水槽熱帯夜  
熱帯夜二十六時のラジオ付け  
偉丈夫の西瓜嫌ひで鮎嫌ひ

まさお  
ときよし  
美加代  
山牛